



平成27年4月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年12月8日

上場会社名 株式会社ビューティガレージ 上場取引所 東
 コード番号 3180 URL http://www.beautygarage.co.jp
 代表者 (役職名)代表取締役CEO (氏名)野村 秀輝
 問合せ先責任者 (役職名)執行役員 (氏名)伊藤 雅之 (TEL)03(5752)3897
 経営管理グループ統括責任者
 四半期報告書提出予定日 平成26年12月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有(機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年4月期第2四半期の連結業績(平成26年5月1日~平成26年10月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年4月期第2四半期	3,514	14.1	176	211.4	183	292.8	113	305.9
26年4月期第2四半期	3,081	—	56	—	46	—	28	—

(注) 包括利益 27年4月期第2四半期 113百万円(304.5%) 26年4月期第2四半期 28百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
27年4月期第2四半期	95	93	94	89
26年4月期第2四半期	23	71	23	53

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
27年4月期第2四半期	2,712	1,370	50.5%
26年4月期	2,293	1,266	55.2%

(参考) 自己資本 27年4月期第2四半期 1,369百万円 26年4月期 1,265百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
26年4月期	—	—	—	18.00	18.00
27年4月期	—	—	—	—	—
27年4月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無
 2. 平成27年4月期の期末配当につきましては実施する予定ですが、金額は未定であります。

3. 平成27年4月期の連結業績予想(平成26年5月1日~平成27年4月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,390	14.4	349	15.2	352	19.3	218	26.8	185.00

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 — 社(社名) — 、除外 — 社(社名) —

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

27年4月期2Q	1,192,400株	26年4月期	1,182,000株
27年4月期2Q	47株	26年4月期	—株
27年4月期2Q	1,185,641株	26年4月期2Q	1,182,000株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間は、政府の景気対策や日本銀行の金融施策を背景に企業収益の改善や雇用情勢の持ち直しなど、全体として緩やかな回復基調が続いておりますが、消費税増税や原材料価格の上昇等の影響から、先行き不透明な状況となっております。

また、当社グループが事業を展開する美容サロン業界におきましても、依然として店舗間の競争が激しく、さらに消費税増税後の反動減からの回復が遅れるなど厳しい状況が続いております。

そのような状況下、当社グループでは新規顧客の獲得や既存ユーザの利用率向上に向けて各種プロモーション活動を実施すると共に、商品ラインナップ強化、インターネット通販サイト「BEAUTY GARAGE Online Shop」の改善などを継続して実施いたしました。また、その他周辺ソリューション事業においてはサービスの強化など各種取組を実施いたしました。

以上の結果、平成26年10月末時点のアクティブユーザ（過去1年間に1回以上購入したユーザ）は72,430口座（前年同期比13,462口座増）に伸長し、当第2四半期連結累計期間における売上高は3,514,036千円（前年同期比14.1%増）となりました。

物販事業の構成比率の増加及び店舗設計事業における売上総利益率の改善により、当第2四半期連結累計期間における売上総利益は1,202,523千円（前年同期比17.0%増）となりました。

また、イベントへの出展やカタログ発刊を始めとして積極的なプロモーション施策を実施しつつも販売費及び一般管理費の圧縮に努めた結果、営業利益176,634千円（前年同期比211.4%増）、経常利益183,553千円（前年同期比292.8%増）、四半期純利益113,744千円（前年同期比305.9%増）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

①物販事業

物販事業においては、インターネット通販サイト「BEAUTY GARAGE Online Shop」、主要都市10ヶ所のショールーム、カタログ通販誌「BG STYLE」を通して、理美容機器や化粧品・消耗品等のプロ向け美容商材を全国のビューティサロンに提供しております。

物販事業売上高の約6割を占める当社の最も重要な販売経路である「BEAUTY GARAGE Online Shop」経由の売上高は前年同期比25.9%増と順調に伸長し続けております。

商品別でみるとストック型収益商材である化粧品や消耗品の売上高は前年同期比45.7%増と大幅に伸長しており、当社の基本戦略である「フロー&ストック型収益構造への転換」は堅調に進捗しております。

美容業界最大のイベントである「BEAUTY WORLD JAPAN 2014」（開催地：東京）への出展やカタログ通販誌「BG STYLE」の最新刊を発行するなど、積極的な販売促進活動の実施に加え、商品ラインナップの拡充や「BEAUTY GARAGE Online Shop」の利便性の向上施策を継続的に実施いたしました。

この結果、当事業の売上高は2,777,352千円（前年同期比19.5%増）、セグメント利益は229,175千円（前年同期比57.7%増）となりました。

②店舗設計事業

店舗設計事業におきましては、連結子会社である株式会社タフデザインプロダクトにより店舗設計・工事施工監理を提供しております。平成26年5月には東京・金沢・福岡・大阪に続き5拠点目となる名古屋支店を開設し、サービス提供エリアを拡大いたしました。

デザイナーの増員や積極的な営業活動を行い新規顧客の開拓に努めましたが、消費税増税前の駆け込み需要の反動による影響が想定以上に大きかったことから、当事業の売上高は599,036千円（前年同期比5.9%減）、セグメント利益は24,797千円（前年同期比4.6%増）となりました。

③その他周辺ソリューション事業

その他周辺ソリューション事業におきましては、ビューティサロンの開業と経営に必要なサポートとして居抜き物件仲介サービスや集客支援サービス、e-ラーニングサービス等の各種ソリューションサービスを、各専門インターネットサイトと全国主要都市10ヶ所のショールームを通して提供しております。

教育事業強化を目的としたセミナー・講習会のサービスメニューの拡充や各種サービスのサイトの利便性向上などの各種施策を実施いたしました。

この結果、当事業の売上高は137,648千円(前年同期比13.7%増)、セグメント利益は16,246千円(前年同四半期はセグメント損失18,999千円)となっております。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて19.8%増加し、2,457,072千円となりました。これは、主に現金及び預金の増加207,014千円、商品の増加86,425千円、仕掛品の増加64,682千円及び売掛金の増加37,209千円によるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて5.4%増加し、255,455千円となりました。これは、主に投資その他の資産の増加13,065千円によるものであります。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて32.3%増加し、1,177,928千円となりました。これは、主に買掛金の増加75,170千円、賞与引当金の増加59,467千円、未払法人税等の増加51,252千円、短期借入金の増加27,500千円及び1年内返済予定の長期借入金の増加25,814千円によるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて20.5%増加し、164,385千円となりました。これは、主に長期借入金の増加21,578千円によるものであります。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べて8.2%増加し、1,370,214千円となりました。これは、主に配当金の支払に伴い利益剰余金の減少21,276千円があったものの、当四半期純利益の計上に伴い利益剰余金の増加113,744千円があったことによるものであります。

キャッシュ・フローの状況の分析

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ207,014千円増加し、758,276千円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、175,856千円(前年同期比219.4%増)となりました。これは、主にたな卸資産の増加151,107千円及び法人税等の支払額49,913千円があったものの、税金等調整前四半期純利益183,553千円の計上、仕入債務の増加75,170千円、その他の引当金の増加60,394千円及び前受金の増加46,111千円があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、36,098千円(前年同期比15.2%減)となりました。これは、主に敷金保証金の差入による支出14,087千円、有形固定資産の取得による支出13,836千円及び無形固定資産の取得による支出9,454千円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は、65,251千円(前年同期比155.3%増)となりました。これは、主に長期借入金の返済による支出52,608千円及び配当金の支払額21,122千円があったものの、長期借入れによる収入100,000千円及び短期借入れによる収入30,000千円があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年11月28日に公表いたしました連結予想から修正は行っておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年4月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年10月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	551,261	758,276
売掛金	436,759	473,969
商品	805,551	891,977
仕掛品	8,535	73,217
その他	255,077	267,532
貸倒引当金	△6,364	△7,899
流動資産合計	2,050,820	2,457,072
固定資産		
有形固定資産	69,487	72,539
無形固定資産		
のれん	529	-
ソフトウェア	40,079	37,689
その他	116	116
無形固定資産合計	40,725	37,806
投資その他の資産	132,044	145,110
固定資産合計	242,258	255,455
資産合計	2,293,078	2,712,528
負債の部		
流動負債		
買掛金	411,500	486,670
短期借入金	-	27,500
1年内返済予定の長期借入金	60,208	86,022
未払法人税等	52,465	103,718
賞与引当金	23,880	83,348
製品保証引当金	9,792	16,152
受注損失引当金	350	1,277
その他	332,223	373,239
流動負債合計	890,420	1,177,928
固定負債		
長期借入金	69,352	90,930
ポイント引当金	27,705	31,181
資産除去債務	23,945	24,039
その他	15,363	18,235
固定負債合計	136,366	164,385
負債合計	1,026,786	1,342,313
純資産の部		
株主資本		
資本金	262,320	268,170
資本剰余金	213,587	219,437
利益剰余金	789,621	882,089
自己株式	-	△106
株主資本合計	1,265,528	1,369,590
新株予約権	-	236
少数株主持分	763	387
純資産合計	1,266,291	1,370,214
負債純資産合計	2,293,078	2,712,528

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年5月1日 至平成25年10月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年5月1日 至平成26年10月31日)
売上高	3,081,013	3,514,036
売上原価	2,052,966	2,311,513
売上総利益	1,028,047	1,202,523
販売費及び一般管理費	971,332	1,025,889
営業利益	56,714	176,634
営業外収益		
受取利息及び配当金	73	54
為替差益	-	4,111
その他	2,114	4,080
営業外収益合計	2,187	8,246
営業外費用		
支払利息	874	796
為替差損	10,866	-
株式交付費	-	347
その他	429	183
営業外費用合計	12,170	1,327
経常利益	46,731	183,553
特別利益		
固定資産売却益	90	-
特別利益合計	90	-
特別損失		
本社移転費用	4,300	-
特別損失合計	4,300	-
税金等調整前四半期純利益	42,522	183,553
法人税、住民税及び事業税	31,599	100,938
法人税等調整額	△17,102	△30,754
法人税等合計	14,496	70,184
少数株主損益調整前四半期純利益	28,025	113,369
少数株主損失(△)	-	△375
四半期純利益	28,025	113,744

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年5月1日 至平成25年10月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年5月1日 至平成26年10月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	28,025	113,369
四半期包括利益	28,025	113,369
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	28,025	113,744
少数株主に係る四半期包括利益	-	△375

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年5月1日 至平成25年10月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年5月1日 至平成26年10月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	42,522	183,553
減価償却費	18,745	14,610
のれん償却額	1,059	529
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△2,485	1,534
ポイント引当金の増減額(△は減少)	1,700	3,475
製品保証引当金の増減額(△は減少)	1,081	6,360
その他の引当金の増減額(△は減少)	57,312	60,394
受取利息及び受取配当金	△73	△54
支払利息	874	796
株式交付費	-	347
有形固定資産売却損益(△は益)	△90	-
売上債権の増減額(△は増加)	35,065	△37,209
たな卸資産の増減額(△は増加)	△62,021	△151,107
仕入債務の増減額(△は減少)	3,682	75,170
未払金の増減額(△は減少)	△19,775	△12,713
前受金の増減額(△は減少)	3,037	46,111
その他	59,904	34,732
小計	140,540	226,531
利息及び配当金の受取額	107	81
利息及び保証料の支払額	△944	△843
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△84,652	△49,913
営業活動によるキャッシュ・フロー	55,050	175,856
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△1,140	△840
定期預金の払戻による収入	5,400	2,400
有形固定資産の取得による支出	△45,346	△13,836
有形固定資産の売却による収入	95	-
無形固定資産の取得による支出	△9,733	△9,454
敷金保証金の差入による支出	-	△14,087
敷金保証金の回収による収入	11,666	500
資産除去債務の履行による支出	△2,720	-
その他	△780	△780
投資活動によるキャッシュ・フロー	△42,559	△36,098
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	-	30,000
短期借入金の返済による支出	-	△2,500
長期借入れによる収入	100,000	100,000
長期借入金の返済による支出	△40,960	△52,608
社債の償還による支出	△10,000	-
株式の発行による収入	-	11,352
自己株式の取得による支出	-	△106
配当金の支払額	△23,479	△21,122
新株予約権の発行による収入	-	236
財務活動によるキャッシュ・フロー	25,560	65,251
現金及び現金同等物に係る換算差額	8,175	2,005
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	46,226	207,014
現金及び現金同等物の期首残高	556,629	551,261
現金及び現金同等物の四半期末残高	602,856	758,276

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成25年5月1日至平成25年10月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	物販事業	店舗設計事業	その他周辺ソ リユーション 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,323,341	636,582	121,089	3,081,013	—	3,081,013
セグメント間の内部売上高 又は振替高	15,133	38,350	1,222	54,707	△54,707	—
計	2,338,475	674,933	122,311	3,135,720	△54,707	3,081,013
セグメント利益又は損失 (△)	145,283	23,706	△18,999	149,990	△93,275	56,714

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△93,275千円には、セグメント間取引消去7,340千円、未実現利益の調整額△251千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△100,364千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成26年5月1日至平成26年10月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	物販事業	店舗設計事業	その他周辺ソ リユーション 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,777,352	599,036	137,648	3,514,036	—	3,514,036
セグメント間の内部売上高 又は振替高	10,461	22,875	382	33,720	△33,720	—
計	2,787,814	621,911	138,031	3,547,756	△33,720	3,514,036
セグメント利益	229,175	24,797	16,246	270,219	△93,585	176,634

(注) 1. セグメント利益の調整額△93,585千円には、セグメント間取引消去6,782千円、未実現利益の調整額467千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△100,835千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。